

自治体は 原発のリスクを 負うことができるか？

いま、私たち鳥取県民は島根原発稼働のリスクに直面しています。
ところが、周辺自治体には事前了解権がありません。沈黙は賛同と同じでしょうか？
住民や自治体が意見を表明しなければ、稼働了承になりかねません。共に、考えましょう。

2018年 **7月22日** (日) 13:30~16:00

会場：鳥取県立武道館 2F 会議室（米子市両三柳 3192-14）

◎講演 「市長としての決断を語る」

講師 **三上 元 氏**

前 湖西市長（浜岡原発から60km圏、浜名湖西岸）
脱原発をめざす首長会議 世話人



◎鳥取の現状

1. なぜ事前了解権が必要か？

土光 均（さよなら島根原発ネットワーク）

2. 中国電力(株)、立地自治体等への申入れ

山中幸子（えねみら・とっとり）

3. 境港市議からの報告 松本 照

4. 鳥取県議からの報告 森 雅幹

5. 3号機裁判の報告

新田ひとみ（島根原発3号機訴訟の会）

1945年新所村（現湖西市）生まれ。湖西市長を3期務める。2001年9.11米国テロ以来、国防上から脱原発を主張。3.11 東日本大震災と原発事故を見て、3週間熟慮し、4/1 に市の幹部集会で市長として脱原発の運動をすることを宣言。4/12 に県の市長会で「浜岡原発を止めていただきたい」と発言。

「浜岡原発差し止め」、「浜岡原発の廃炉を求める」訴訟原告団にも加わる。

自ら作成したチラシ“どう計算しても原発は高い！”は、全国で活用されている。

★プログ 自由人 三上 元の選択

<http://pikagen.hamazo.tv/>

◎意見交換

◎共同アピール

主催：えねみら・とっとり(エネルギーの未来を考える会)

共催：さよなら島根原発ネットワーク、新日本婦人の会鳥取県本部、I 女性会議鳥取県本部、平和・民主・住みよい米子をつくる会、平和で暮らしよい境港をつくる会、島根原発・エネルギー問題県民連絡会

後援：鳥取県連合婦人会

問合せ・申込先：080-6173-1318(山中)